

大雨、台風、突風（強風）、大雪などは、どのような被害をもたらすのでしょうか。



大雨・台風によって起こる災害

近年の地球温暖化や都市化の影響で、突然天気が崩れ、限られた地域に短い時間で大雨が降る集中豪雨が発生しています。また、台風や前線の影響による長期間の雨により、各地で災害も発生しています。

集中豪雨は、急速に発達した積乱雲（入道雲）が影響しています。

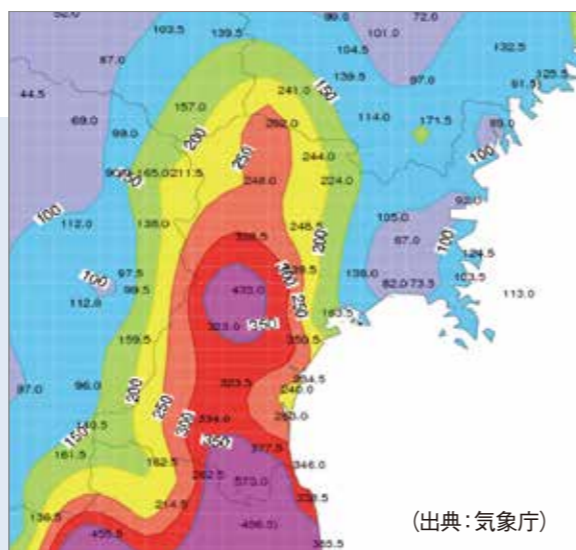
また、台風は直接通過しなくても、雨だけでなく強い風により広範囲に被害を及ぼすことを知っておきましょう。

洪水害

大雨などが原因となり、河川の流量が異常に増加することで、堤防が決壊したり、河川の水が堤防を越えたりして、周囲に浸水し、被害を及ぼすことがあります。



（写真提供：河北新報社）
平成27年9月関東・東北豪雨による洪水（大崎市）



（出典：気象庁）
平成27年9月関東・東北豪雨の降水量分布図 [9月6日0時から11日12時までの宮城県内の総降水量（単位：mm）]

浸水害

大雨などにより、排水が追いつかず、用水路・下水溝があふれて氾濫することがあります。また、河川の増水や高潮によって排水がはばまれ、周囲に浸水し、被害を及ぼすこともあります。



（写真提供：河北新報社）
平成27年9月関東・東北豪雨
水があふれ、冠水する道路（仙台市）



（写真提供：国土交通省九州地方整備局）
平成15年7月福岡水害
地下街に流れ込む濁流（福岡市）

土砂災害

土砂災害には、集中豪雨によって山腹や川底の石や土砂が一気に下流に押し流される土石流と、山の斜面や自然の急傾斜のがけ、人工的な造成による斜面が突然崩れ落ちるがけ崩れや



（写真提供：時事通信）
平成26年8月豪雨により起きた大規模な土砂災害（広島市）

地すべりがあります。どちらもすさまじい破壊力を持ち、大きな被害をもたらします。

土砂災害は、現在降っている雨だけでなく、それまでに降った雨が土にたまっている量にも深く関係しているんだね。



竜巻などの激しい突風によって起こる災害

竜巻などの激しい突風が発生すると、家屋の倒壊や車の転倒、物の飛来などにより、短時間で大きな被害をもたらすことがあります。竜巻などの激しい突風は、積乱雲の発達により発生する場合があります。知っておきましょう。



（写真提供：塩谷南那須教育事務所）
発生した竜巻（栃木県）



（写真提供：気象庁）
竜巻による被害（茨城県）

大雪

低気圧の影響などで、普段雪の降ることが少ない東京や関東地方南部に大雪を降らせることがあります。2014（平成26）年2月には東日本全体に雪が降り、山梨県や群馬県など各地で孤立した地域がありました。宮城県丸森町でも孤立した地域があり、救出作業が行われました。

大雪による被害には、交通機関の乱れやまひ、停電、農作物の被害、家屋の倒壊、除雪作業中の事故、雪崩などがあります。



（写真提供：陸上自衛隊）
自衛隊による救出作業（丸森町）



洪水害や浸水害、土砂災害は、地形による影響を受ける災害です。自分が住んでいる土地はどのような特性をもつ地形か、また、過去にどのような災害が起こったかを調べてみましょう。